

## 📌 会派を超え安保関連法案反対アピール

8月15日(土)と9月14日(月)、稲津氏をはじめ「安全保障関連法案」に反対する府中市議会議員が一堂に会し、府中駅周辺にて街頭アピールを行いました。参加した議員は1人ずつ、平和への想いを述べました。【写真は8月開催時のもの】

稲津氏は、話し合いを十分に持たず、強引な解釈で法案を通そうとする政府の姿勢を厳しく断じました。

アピールに足を止める方や、各議員の意見にご賛同いただく方も多く、府中市民の関心の高さも浮き彫りになりました。

しかし、9月18日(金)に法案が国会で可決・成立してしまいました。それでも、反対活動が終わった訳ではありません。実際に法を施行させないことを強く求めてまいります。

今なお稲津氏は、法案や採決の違法性を断じる姿勢を崩していません。



## 📌 第4回定例会は11月27日(金)から

次回の平成27年第4回定例会は、11月27日(金)に開催し、一般質問は11月30日(月)または12月1日(火)が予定されています。第4回定例会も是非、議場に足を運んだり、インターネット中継を利用したりするなどで、府中市議会を身近に感じていただければ幸いです。

傍聴の際、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前まで(土日祝日を除く)にお申込を。車いす用の席もごさいます。

### 【府中市議会インターネット中継】

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp>

本会議や一般質問などを生中継でご覧いただけます。スマートフォンやタブレット

### 【第4回定例会(予定)】

- 11月
  - 27日(金) 本会議(委員会付託等)
  - 30日(月) 本会議(一般質問)
- 12月
  - 1日(火) 本会議(一般質問)
  - 7日(月) 建設環境委員会
  - 8日(火) 基地等跡地対策特別委員会
  - 14日(月) 本会議(委員会審査報告等)

※ 上記は2015年10月1日現在の予定です。実際の日程が変動する場合がございます。

### 【府中市議会の問合せ先】

☎ 042-335-4507 (議事係)



### いなづ 稲津けんご

【プロフィール】

1968年 北山町生まれ  
(現在は西原町在住)

1999年から3期12年にわたり府中市議会議員として活動。その後、父の介護や民間での勤務を経て、2015年の選挙で再選。

一時、ケガで車いす生活を送るが、その経験も活かして「誰にでも優しい府中のまちづくり」に取り組んでいる。



ご存知でしたか？



### 【国会でボードを使う理由は？】

テレビや新聞などで国会の様子を見ると、大きなボードで写真やグラフを示しながら議論している場面が多くございます。これは議場や国民に分かりやすく伝えるためだと言われていました。

府中市議会で、このような取り組みは行われていません。議場に立つ者はボードが無い分、口頭でも分かりやすく伝える力が求められています。

## 府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

# 稲津けんご

〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
【Eメール】 [inazu.kengo@gmail.com](mailto:inazu.kengo@gmail.com)  
【編集・発行】府中市議会 府中リベラル



～誰も見捨てない地域社会に～

平成27年8月31日～9月29日開催

## 第3回定例会 徹底総括!! 2015年10月号

## 📌 第3回定例会 平成26年度決算審議

8月31日(月)から9月29日(火)の会期中、平成27年第3回定例会が開催されました。本会では、平成26年度の決算も集中的に審議されました。

9月1日(火)と2日(水)に行われた一般質問で稲津けんご氏は、自らの車いす生活から浮き彫りになった道路問題を取り上げ、誰にでも優しいまちづくりへの取り組みについて質問しました。

※ 一般質問の詳しい内容と、全体の傾向については、中面をご覧ください。



### 【第3回定例会 主な動向】

- 8月
  - 31日(月) 本会議(委員会付託等)
- 9月
  - 1日(火)・2日(水) 本会議(一般質問)
    - ・稲津氏は2日に登壇
  - 8日(火) 建設環境委員会
  - 9日(水) 基地等跡地対策特別委員会
  - 15日(火) 本会議(委員会審査報告等)
  - 16日(水) 決算特別委員会
  - 17日(木)～25日(金) 決算
  - 29日(火) 本会議

※ 稲津氏が所属していない委員会には全てオブザーバー(傍聴人)として参加。

## 📌 タウンミーティング 各地で順次開催

第3回定例会が終了したことを受けて、稲津氏の後援会事務所がある北山町や西原町、武蔵台にて「稲津けんご タウンミーティング」を開催いたします。

今回は、府中市議会や府中リベラルでの活動報告や、各地で抱えている問題への意見交換などを行う予定です。お時間がございます方は、是非ご来場ください。会場周辺以外にお住まいの方の参加も歓迎します。

※ 府中市内でのタウンミーティング開催リクエストは、右記お問合せ先にて承ります。

### 【タウンミーティングのご案内】

- 10月20日(火) 北山自治会館
  - 10月21日(水) 西原町自治会館
  - 10月22日(木) 武蔵台文化センター  
2階会議室
- いずれも14時開始(開場は13時半)  
入場無料、事前申込も不要です。

### 【タウンミーティングの問合せ先】

☎ 042-806-9777 (稲津けんご事務所)  
または、本面上部のEメールアドレスにて

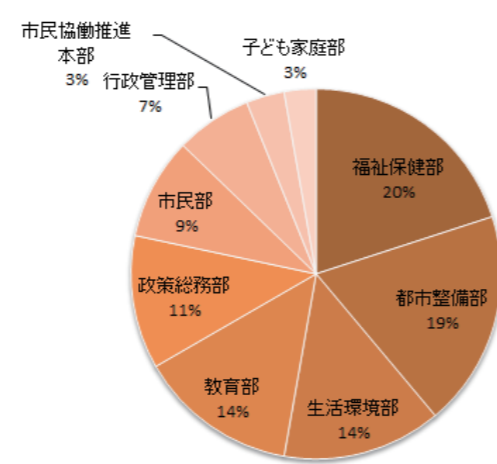
## 市議会一般質問 福祉と都市整備に集中

今回は26名の議員から37件の質問があり、それらの項目は合わせて180にのぼりました。

最も質問が寄せられた福祉保健部では、認知症対策や福祉のまちづくりなどが問われ、続く都市整備部に対しては、横断歩道の設置やバリアフリーに向けた整備、防災や空き家の対策も多く質問されました。

その他、ごみ袋の料金見直しや任期満了が迫る高野市政の政策評価、交通問題、マイナンバー制度、小型飛行機墜落事故後の対策を尋ねる質問もありました。

一般質問 分野別割合



## 総務委 マイナンバーと安保法案に疑問の声

9月3日(月)に開催された総務委員会は、府中市における「マイナンバー制度」に関連した府中市の取り組みや、安保法案反対の意見書を求める市民からの陳情を中心に、時間を長く割いて議論されました。

マイナンバーの運用については、各委員から「マイナンバー制度自体に問題性がある」「個人情報保護の基準や流出時の罰則規定が甘い」など、厳しい声が挙がりました。

市では運用を前提とした関連条例の改正を検討しており、それについては委員会と本会議で賛成多数となりました。



一方、安保法案反対の意見書を求める陳情には賛否両論が挙がり、陳情に賛成する委員からは「法案に十分な理解は得られていない」「法案成立は時期尚早」など、反対派の委員からは「法案を通過させてから内容を理解するでも良い」「一国平和主義は今この国際社会では通用しない」などという意見が挙がりました。

委員会での採決は陳情への賛成多数となりましたが、本会議においては反対多数という大変不本意な結果となりました。



## 建設環境委 道路視察から見たもの

9月8日(火)、稲津氏も所属する建設環境委員会では、位置指定道路(所有者の承諾が無くても日常的に利用・通行出来る私有)の認定及び廃止が議題となり、午前中に視察、午後から審議が行われました。

位置指定道路は道幅4m以上を基本としていますが、今回の対象区間には4mに満たないものもあり、生活環境に応じて柔軟かつ適切に認定すべきであることが浮き彫りになりました。

稲津氏をはじめ、全委員が異議無しとし、本会議でも可決されました。

委員会終了後、稲津氏は「(住まいがある)西原町周辺には市から認定されるべき道路が多く、住民からもその要望が多く出ています。私からも住民から聞き取りを行いつつ、市と住民との話し合いの場を設け、双方が合意出来るよう働きかけたいです」と話しました。



## 一般質問 車椅子でも安心できる道の確保

稲津氏：以下質問いたします。

(A) 現在、府中市内で車椅子で生活する市民の数はどれくらいですか？

(B) 市内のバス路線で、歩車道の段差の解消や勾配に対応している道路はどれくらいありますか？

(C) 府中市内道路における歩車道の段差、特に横断歩道の部分を車椅子で移動する方に対する配慮について、今後の取り組みや見通しを伺います。



担当部長：以下の通りお答えします。

(A) 介護保険給付と、障がい者の車椅子給付で合計1,663名です。

(B) 駅や公共施設を中心に市内37路線、延長13.3kmです。

(C) 原則として5cm、横断歩道部は2cmの段差を標準としています。しかし、市としても2cmの段差は厳しいと認識しており、西府駅前通りで試験的に施工した段差ゼロの特殊ブロックを今後、各地で検討したいと考えています。

【写真は2015年5月 分倍河原駅にて】

## 平成26年度決算 校舎建替計画の策定を!!

9月15日(水)から25日(金)にかけて、平成26年度の決算が審議されました。稲津氏は、結果報告を受けると同時に、今後の課題を洗い出す重要な機会と位置づけて審議に挑みました。

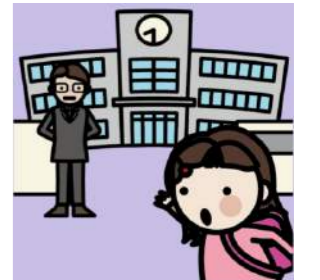
報告の中で稲津氏が最も問題視したのは、学校校舎の補強や建替問題でした。

稲津氏は「現在、府中市立の小中学校は全部で33校あります。今回の審議で市側から、1校を建て替えるには30億円もの費用がかかると報告がありました。建替時期が一気に重なると、財政が健全と言われている府中市も決して安心出来ない状況になるでしょう」と話しました。

市内の学校校舎には築40年を超えるものや、地盤沈下が見られるものもございます。市側は、今後3年間で「目視」で確認しながら工事の優先順位を決めると話していますが、とらえ方次第では現状を軽視しているようにも思えてきます。

仮に、学校の統廃合を進めて建替費用を抑えるとしても、新たな学区整備や跡地利用など、問題は山積しています。

稲津氏は「この問題は実情を十分に把握し、市民の皆様が納得出来る形で取り組むべきです」と話しています。



## 市の公共施設 建設ラッシュに向けて

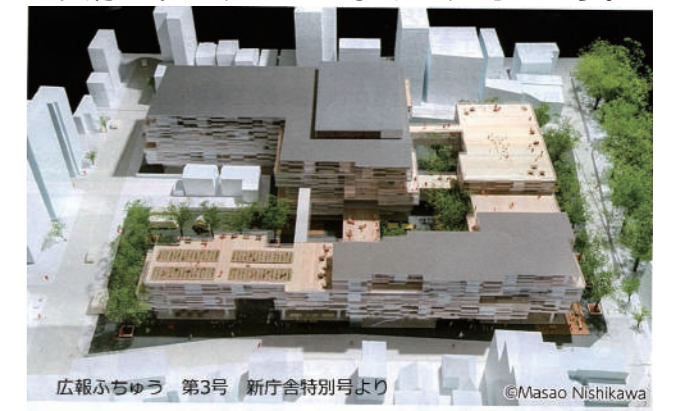
決算審議後、稲津氏は「市が所有する建築物の建替が集中する時期にさしかかっています」と話しました。

中でも、老朽化が進む市庁舎建替や、府中駅周辺の再開発については、着々と計画が進んでいます。

大きな問題となった新国立競技場のような不透明な計画は許されません。工事には安全性とともに、明確さも求められています。



同時に、古き良き街並みと現代的な都市の共存も、これからは求められそうです。



広報ふちゅう 第3号 新庁舎特別号より ©Masao Nishikawa 模型写真(南側から)